

《履修上の留意事項》「発達心理学」は、に分かれ、では「子どもの心理」の成り立ち・変化について、では「青年・成人の心理」の成り立ち・変化について学習する。を合わせた人生の全体的理解が期待される。

《担当者名》今井 常晶

【概要】

この科目は、時間経過に伴う人間の発達過程と、そのプロセスで起こる様々な問題について学ぶ科目である。

【学修目標】

- 認知機能の発達及び感情・社会性の発達について説明できる。
- 自己と他者の関係のあり方と心理的発達について説明できる。
- 誕生から死に至るまで生涯における心身の発達及び各発達段階での特徴について説明できる。
- 発達障害等非定型発達について基礎的な事項や考え方を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	公認心理師のための発達心理学理論とその近接領域について理解する。	今井 常晶
2	発達の生物学的基礎	発達をもたらす要因や行動遺伝学、エピジェネティクスについて理解する。	今井 常晶
3	感覚と運動の発達	胎生期、新生児期、乳児期の発達について理解する。	今井 常晶
4	アタッチメントの発達	人への信頼感の土台であるアタッチメントの発達とその個人差について理解する。	今井 常晶
5	認知の発達	認知発達のグランドセオリーやピアジェ理論について理解を深める。	今井 常晶
6	社会性の発達	社会性の発達や社会的認知、社会的行動について理解する。	今井 常晶
7	感情と自己の発達	感情や自己およびその関係や、社会との関係から見た感情と自己について理解する。	今井 常晶
8	遊びと対人関係の発達	遊びと対人関係の意義や遊びの発達、対人関係の発達、現代的課題について理解する。	今井 常晶
9	言葉と思考をめぐる発達	身体発育と運動能力の発達、言葉や思考の発達について理解する。	今井 常晶
10	青年期	青年期の心身の発達やアイデンティティ発達、青年期の遷延化について理解する。	今井 常晶
11	成人期	成人期の心身の発達やキャリアの発達、家族形成、ワークライフバランスについて理解する。	今井 常晶
12	中年期	中年期の心身の変化や中年期危機について理解する。	今井 常晶
13	老年期	老年期の心身の発達や心理社会的課題、臨床的問題について理解する。	今井 常晶
14	定型発達と非定型発達	神経発達障害群の概要と、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症について理解する。	今井 常晶
15	定型発達と非定型発達	限局性学習症、発達性運動協調症、知的能力障害、アタッチメント障害について理解する。	今井 常晶

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

問い合わせがあった場合には模範解答を開示する。

【教科書】

公認心理師スタンダードテキストシリーズ12 発達心理学 林創編著 ミネルヴァ書房

【備考】

適宜資料を配布する。

【学修の準備】

テキストを随時読んで、毎回の関連する話題について理解しておくこと（80分）。
授業終了後、配布資料を見直して復習しておくこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

この授業は「心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得している」に関連している。

【実務経験】

公認心理師・言語聴覚士・音楽療法士

【実務経験を活かした教育内容】

すべての回で、関連する事例を話題提供する。